

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 3 年 3 月 30 日

事業所名 まなび家早島

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			複数の学習支援室や生活支援室等を使用し、児童がゆとりを持って活動できるように配慮している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準2名に加えて加配職員を1名配置している。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		パート職員が参加できないことが多いので、シフトや日時の調整等改善する必要がある。
	4	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			定期的なアンケートを実施している。結果を踏まえ、業務改善に繋げ、よりきめ細かなサービスの提供を心がけます。
	5	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			弊社のホームページで公開している。
	6	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員の希望があれば、外部研修に積極的に参加してもらっている。
適切な 支援の 提供	7	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者や子どもとの面談を大事にしながら、相談支援事業所や学校、併用事業所等との連携を通じ、保護者の要望や子どもの課題を把握して個別支援計画の作成を行なっている。
	8	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		独自のアセスメントツール(用紙)を使用。必要な情報や事前に情報収集した内容を記載し支援や療育の基本としているが、更に細やかに記載できるように改善する余地がある。
	9	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休み期間などの休日は、普段の課題にプラスした学習・生活課題の設定をしたり、平日では実施困難な活動を取り入れながら支援を行なっている。
	11	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	12	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	13	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了後に全体で打ち合わせをすることはできていないが、個別での共有を行ったり、当日の支援で気づいた点や反省・改善点等、共有事項は各自ネットワーク上に入力して共有できるようにしている。それを踏まえ、必要に応じてミーティングを実施し、支援内容の検討・改善をはかっている。
	14	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		全職員で記録の入力と修正、共有を行なえるようにしているが、必要な情報を的確に記録できるよう、フォーマットを整備する必要がある。
	15	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、見直しの必要性を判断している。

	16	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ せて支援を行っているか	○		個々の状況や発達段階に応じて、必要な課題活動を複数組み合わせた支援 を行なっている。
関係機 関や 保 護 者 と の 連 携	17	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子どもの状況に精通した最もふさわし い者が参画しているか	○		最もふさわしい者が参画している。
	18	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切 に行っているか	○		基本的な情報については、連絡を取り合い共有を行なっている。送迎時には 児童の体調などの引き継ぎもしている。
	19	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている か		○	対象児の受け入れ実績がない。
	20	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所等との間で情報 共有と相互理解に努めているか	○		担当の相談支援専門員を通じて行っている。
	21	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所か ら障害福祉サービス事業所等へ移行する場 合、それまでの支援内容等の情報を提供する 等しているか		○	今年度に初めて、高校を卒業し障害福祉サービス事業所へ移行する児童が いる。まだ実績はないが、必要に応じて情報提供は行っていく。
	22	児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け ているか	○		
	23	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の ない子どもと活動する機会があるか		○	今年度はイベントを通して、障がいのない子どもと活動する機会を設けたが、 放課後等児童クラブや児童館等のやや規模の大きい交流は行っていない。
	24	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加して いるか	○		
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っているか	○		WEBシステムや送迎時、事業所内相談にて、ご家庭や事業所での様子を伝え 合い、現状と課題の共通理解に努めている。
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレント・トレーニング等の支援を 行っているか		○	保護者からの要望があれば、計画を策定して支援を行う。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	27	運営規程、支援の内容、利用者負担等につい て丁寧な説明を行っているか	○		細かく丁寧に説明するように努めている。
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		事業所内相談は随時行い、必要に応じて他支援機関との連携や同行等の支 援を行っている。また、的確な助言が行えるよう、研修等を通じて職員のス キル向上に努める必要はある。
	29	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開 催する等により、保護者同士の連携を支援して いるか		○	
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体 制を整備するとともに、子どもや保護者に周知 し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応し ているか	○		電話や対面時以外でも、WEBシステムにて24時間保護者の都合の良いタイ ミングでご意見をいただける様に体制を整え、周知している。苦情があつた際 にはできる限り迅速かつ適切に対応し、今後の業務改善につなげている。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し て発信しているか		○	イベント等の開催日時や内容の案内、必要な連絡事項については毎月配布 して発信している。今後は「学年だより」のようなシンプルな活動報告の配布 を検討している。
	32	個人情報に十分注意しているか	○		
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしているか	○		絵カードやヘルプカード等、子どもにあつたツールを必要に応じて導入し、意 思の伝達がしやすいように配慮している。

	34	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域住民の方へも随時見学・説明会を実施している。今後、活動を通してどのように地域に入っていけるかという点は課題である。
非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			対応マニュアルを作成して連絡・要請、児童への対応等を周知し、職員で訓練を行っている。また、児童へも地震や火災を想定した訓練を実施している。
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現在対象児はいないが、今後対象児がいた場合は事前に十分な説明を行う。
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時に保護者から聞き取り、対応を行っており、疑問がある場合にはその都度保護者に確認している。
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ミーティング時に口頭での共有になりがちなので、フォーマットを活用した共有を徹底することを課題とする。